

2022年度 食品表示検定フォーラム

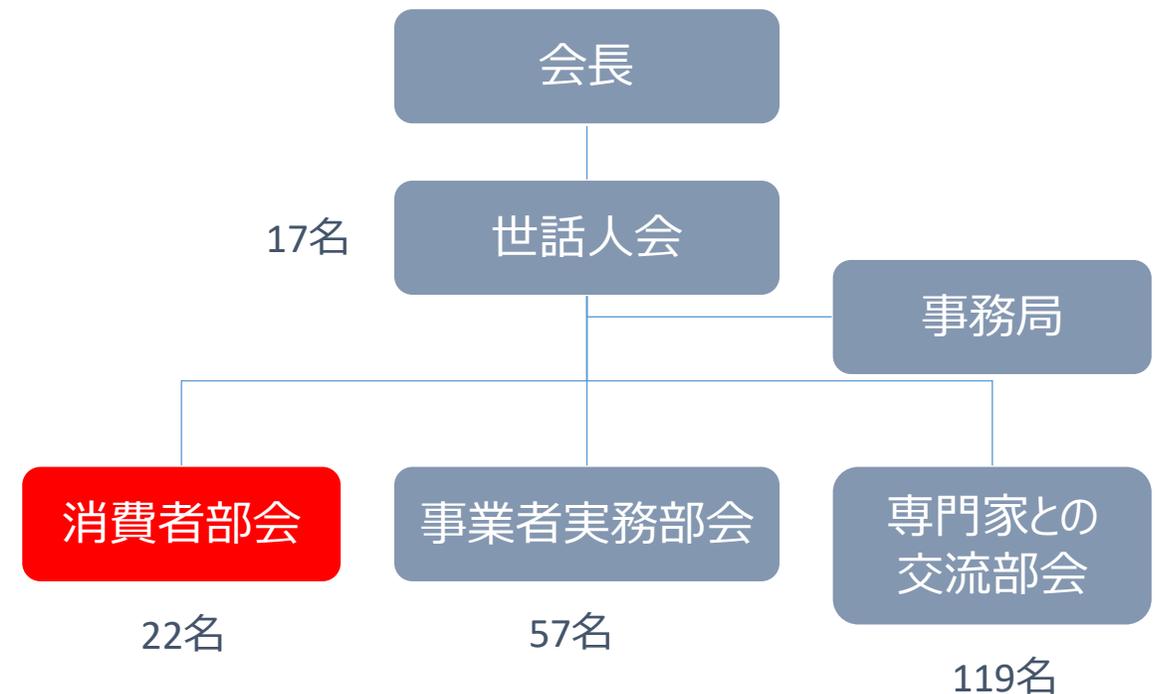
食品表示活用研究会 部会活動のご紹介（消費者部会の事例）



2023年3月2日
消費者部会 部会長
高山大介

消費者部会（2022年度）：27名

担当世話人：5名



部会員：22名（世話人除く）

※このほか「全体活動のみ参加」が53名

消費者部会2022年度活動

今年度の消費者部会は様々な視点を持つ生活者と交流することによって、食品表示を介した「**学び**（意見交換による新たな気づきの獲得）」と「**発信**（食品表示ルールの解説）」の活動を行いました。

部会	日時	活動内容	交流する相手	学び／発信
第1回部会	9月12日（月）	食品表示解説資料のブラッシュアップ（グループワーク）	消費者部会メンバー	学び
第2回部会	11月11日（金）	消費者市民社会をつくる会（ASCON）との意見交換会	消費者視点に詳しい専門家	学び
第3回部会	11月26日（土）	東京農大オープンカレッジ 知ってた？食品表示のキホン	一般の生活者	学びと発信
第4回部会	1月24日（火）	千葉県ヘルスマイト研修会	消費者教育の従事者	発信

※注：通常は年間3回の部会活動を実施しています

第1回部会：9月12日実施 食品表示解説資料の作成

- 「親子がスーパーに晩御飯の買い物に行く」ストーリー仕立てで、生活者視点から楽しく食品表示について学ぶことができる資料をグループワークによって作成。
- 約40分間の解説を想定したスライド54枚の資料。
- 「豆知識」や「クイズ」を交えた双方向の学習資料。



加工食品の表示 一括表示・栄養成分表示

どんな食べ物か	名称	2種混合果実・シラップづけ(ライト)													
何が入っているか	原材料名	果実(パインアップル、パパイヤ)、ナタデココ、砂糖/クエン酸													
どれくらい入っているか	固形量	263g	内容総量 432g												
いつまで食べられるか	賞味期限	缶ぶたに記載													
どこの国で作られたか	使用上の注意	開缶後は空気にふれて内面が酸化しますので、必ず他の容器に移し替えてください。													
誰が売っているか	原産国	フィリピン													
どれくらい栄養がたれるか	販売者	株式会社ドール 東京都千代田区三番町6-2													
	輸入者	伊藤忠商事株式会社 東京都港区北青山2-5-1													
	栄養成分表示(100g当たり)	<table border="1"> <tr> <td>熱量</td> <td>63kcal</td> <td>炭水化物</td> <td>16.5g</td> </tr> <tr> <td>たんぱく質</td> <td>0.2g</td> <td>食塩相当量</td> <td>0g</td> </tr> <tr> <td>脂質</td> <td>0g</td> <td>この食品は低糖質食品です。</td> <td></td> </tr> </table>		熱量	63kcal	炭水化物	16.5g	たんぱく質	0.2g	食塩相当量	0g	脂質	0g	この食品は低糖質食品です。	
熱量	63kcal	炭水化物	16.5g												
たんぱく質	0.2g	食塩相当量	0g												
脂質	0g	この食品は低糖質食品です。													

クイズ【原料原産地表示】

QUIZ!

ブラジル産のとうもろこしを使用して、アメリカでとうもろこし粉末を製造しました。そして、そのとうもろこし粉末を最も多い原材料として使用して日本で加工食品を製造しました。この場合、次の()の中に入る適切な表示は、次の①～③の内どれでしょう。

原材料名	とうもろこし粉末()、でん粉、たまねぎエキス、...
------	-----------------------------

①ブラジル産
②アメリカ製造
③国内製造

第2回部会：11月11日実施 消費者団体との意見交換会

消費者市民社会をつくる会（ASCON）との意見交換会を行いました。

- 「食品表示の課題（原料原産地、期限表示）」 「個別食品ルール、名称規制」 「物価高騰とステルス値上げ」をテーマとしたパネルディスカッションとグループディスカッションを実施。
- 消費者と事業者及び行政のそれぞれの立場から率直な意見交換を行いました。



第3回部会：11月26日実施 東京農大オープンカレッジ

東京農大オープンカレッジ（市民講座）として食品表示の解説と意見交換を行いました。

- 第1回部会で作成した「食品表示解説資料」を使用した食品表示ルールの解説と、「商品を選ぶときにどのような点を見ているか」をテーマとしたグループディスカッションを実施。
- 一般の生活者の皆様が食品表示や食品に対して抱いている印象を知ることができました。



今話題の世田谷代田駅前にあるオープンカレッジ施設



第4回部会：1月24日実施 千葉市ヘルスマイト研修会

千葉市ヘルスマイト（食生活改善指導員）の研修会で食品表示の解説と意見交換を実施。

- ヘルスマイトは普段地域の食生活や食育の指導・教育に携わっているボランティアの皆さん。
- 意見交換では特に「栄養表示の活用」「栄養訴求商品の活用」について、会場も交えて活発なディスカッションを行うことができました。



千葉市立美浜文化ホールにて、千葉市食生活改善協議会と千葉市健康推進課、併せて140名弱の皆様に対して開催しました

消費者部会活動に参加いただいたみなさんの感想（抜粋）

農大オープンカレッジ受講生、千葉市ヘルスマイトの皆さんの感想

- テーブルごとに分けての講義、お互い話しあえて良かったです。栄養成分表示の大切さを学びました。
- 楽しい講座でした。色々な食品があるので、もっと実例や、例外があると良かった。
- 表示のお話はあらためて良くわかりました。まぎらわしいものもあったので、もっと簡潔にわかるようにしてほしい。減塩といっても、保存の役目を担っている塩分を減らして添加物が増えるのが心配です。
- 講演会の時間を短くし、意見交換の時間を増やしてほしいと思いました。

消費者部会メンバーの感想

- 本年度の開催ありがとうございました。第2回の消費者団体との意見交換がとても勉強になりましたので、このようなスタイルをまた組み込んで頂けるとすごく嬉しいです。
- 消費者の方に表示の解説を行い、表示についての要望を伺えた点が有意義でした。一方で、どうしても教える立場になってしまうので、何か新しい知見を得る活動ができればよりありがたいです。
- オンラインでの参加もできてとても有難かったです。時々、聞きにくい場面があったので音声安定するとよりよいなと思いました。

来年度はさらに改善をしてより良い活動にしていきます！

(まとめ) 食品表示活用研究会のここがポイント！

1. 部会活動を通じて幅広い業種の仲間と交流することができる。
2. 実際に食品表示を使用されている生活者の生の意見に触れることができ、より正確でわかりやすい表示の作成に活かすことができる。
3. 様々な分野の専門家から知識を学ぶことができる。

皆さんの参加をお待ちしています！

